

(様式第1)

応募様式の書き方(例)と留意点

令和4年〇〇月〇〇日

アカデミア・コンソーシアムふくしま 御中

忘れずに記載

令和4年度 大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業 大学発ベンチャー創出・育成プログラム 試作開発等支援 応募書類(応募様式)

記

■応募者名(研究者、チーム場合はチーム名と代表者名)

➡ 大学 太郎

押印不要

■所属先(ACF加盟機関名もしくは登記されている法人名)

➡ 〇〇大学

■所属先の住所

➡ 〒***-**** 福島県***市***町123-4

■電話番号(所属先の研究室)

➡ 024*-***-****

■携帯電話番号(至急の連絡が付きやすいもの)

➡ 0*0-***-****

■メールアドレス(所属機関のドメインのもの)

➡ t.daigaku**@****.***

■プロジェクト名

➡ ○△における■▼●を応用した◎◎の為の✖✖研究開発

■類型選択

A類型:

量産及び事業化前の商品試作やサービス試行に、1件あたり 200万円(税込)を上限として、1件以内を採択して研究委託する。

B類型:

プロトタイプ試作・試行等による実証の支援に、1件あたり 100万円(税込)を上限として、5件以内を採択して研究委託する。

➡ 申請する類型を○で囲んでください。 ⇒ A類型 ・ B類型

尚、A類型の応募申請については、B類型との併願申請を可とします。その際は両方を○で囲んでください。併願申請をされた場合は、A類型で不採択になった方は、B類型として再審査されます。

■経費必要額 ➡ 1,000,000円(経費総額)

1円単位まで記載してください。別紙2の必要経費内容合計と整合

■申請額 ➡ 1,000,000円(各類型の上限金額以内)

以上

(別紙1)

令和4年度 大学発イノベーション・ベンチャー創出事業
大学発ベンチャー創出・育成プログラム
試作開発等支援 応募書類

書き方(例)

1. 応募内容

表紙に記載した内容と同一にする

①応募者概要 (※)の部分は該当する場合にのみ記入してください

プロジェクト名 (表紙と同じに。30字以内)	○△における■▼●を応用した◎◎の為の**研究開発		
プロジェクトの概要 (100字程度)	*****		
所属名(研究室)	○○大学		
応募者名 チームの場合はチーム名と代表者名	大学 太郎		
所属先住所	〒***-**** 福島県***市***町123-4		
電話番号	024*-***-****	携帯番号 0*0-****-****	FAX 024*-***-****
メールアドレス	t.**daigaku@****.***		
試作開発の実施場所	<input type="checkbox"/> 所属先住所と同一 <input checked="" type="checkbox"/> 所属先住所と異なる (どちらかにチェックを入れる)		
実施場所の住所 (※)	〒***-**** 福島県***市◎◎◎町384-5556-7		
実施場所名称 (※)	●●研究所内 △△エリア		
電話番号 (※)	024*-***-****	携帯番号 0*0-****-****	FAX なし
メールアドレス(※)	t.daigaku**@****.***		
資本金 (※) (*予定含む)	試作開発の実施場所が所属先と異なる場合は記載する		
設立日 (※) (*予定含む)	役員数 もしくは社員 (*予定含む)	全4名	
主要メンバー (代表者以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・○○大学 ○○部3年 ○○ ○雄 ・■■大学 **部2年 ** **子 ・●●研究所 ●●課 技師 ●●● ●郎 		
実施体制	<p>今回の試作開発に際して、.....のご協力を得.....として.....の体制のもと.....実施する。</p> <pre> graph TD A[○○大学] --- B[■■大学] A --- C[●●研究所] B --- C B -.-> **技術協力 C </pre> <p>△△エリアをお借りし試作開発を実施</p>		
<p>今回の応募で連携する企業、大学等があれば、その関係性がわかるように必要に応じて組織図などを使って記載ください。 適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。 (書式枠の外への添付も可能です。以降同様。その場合は、書式枠内にその旨記載のこと)</p>			

②これまでの成果、現状の問題点

これまでの成果

書き方(例)

【背景】

近年、*****において*****ある。その背景には*****があり*****が求められている。

【これまでの取組み】

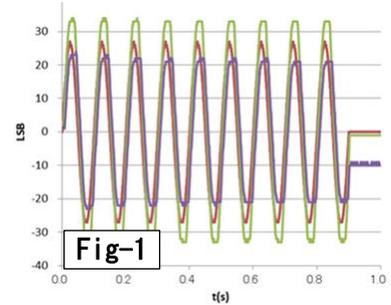
我々*****は、*****の問題意識をもって*****を研究テーマに掲げ、*****の解決に向けて*****を中心に*****た。その成果としてこれまで取り組んできた具体的内容を以下に示す。

*****の特性に関する*****

*****は*****による特性を解析することにより*****性能を判断することができる。

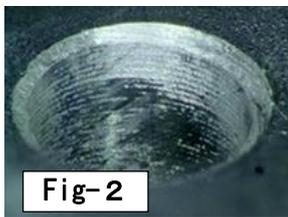
下記 Fig-1 は yaw、pitch に関する G-F 特性を示したものである。*****であり、*****は*****である。このことは*****より*****は明白である。

その要因として考えられるのは*****。*****推測される。これを実証したのが*****の*****である。つまり*****あり、その結果、*****の理論を実証することができたが更に、この原因究明をすべく我々は*****について*****してきた。



技術開発の実績や、技術の事業化における PoC(概念実証)等の状況、これまでに行った事業等やその実績について、記載してください。
適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。

現状の問題点

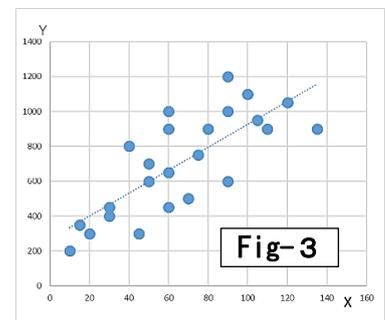


しかしながら、以下のような新たな問題点が判明した。それは*****による*****が影響しており、*****である。(Fig-2 参照)

*****は、*****のために*****であると推測できる。

この要因を明確にするべく我々は*****ことにした。

Fig-3 は*****の相関を調べたものである。これによると、*****の相関があることがわかる。つまり、*****である。



したがって、*****を現状課題と捉え*****に着目し、更に研究を進めることにした。

できるだけ解りやすく、写真や図を用いて説明してください。
適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。

③試作開発等の計画

まず、*****関しては*****あり、*****の要因分析も含め*****することにした。開発STEPについては下記の通り計画した。

書き方(例)

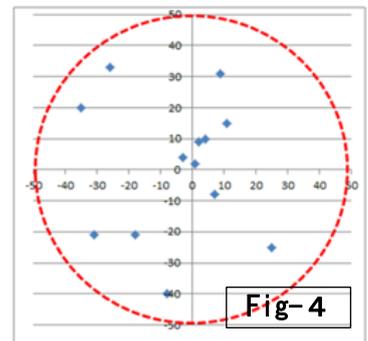
《開発スケジュール》

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
試作開発支援応募	●	→ 採択				
機械装置購入		発注	→ 納品			
実験検証-A	→					
実験検証-B		→ ●				
実験検証-C			●	→ ●		
事績報告書まとめ				→ ●		

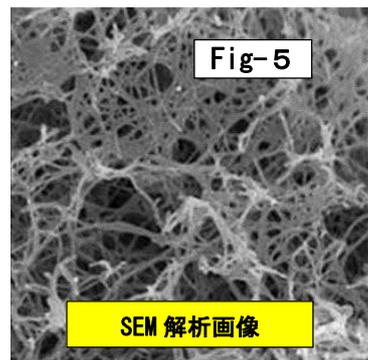
特性に関する実験検証-Aについては既に着手中であり12月までには解析結果が出るものと思われる。採択後、機械装置“◆◆◆◆◆◆◆◆”を発注し、機械入手後は実験検証-Cの**特性評価が可能になる。その間、***性能分析のために実験検証-Bを実施し、実験検証-Aの結果を踏まえ*****となる計画である。そのためには今回購入予定の機械装置“①◆◆◆◆◆◆◆◆”と“②※※※※※”が必要不可欠である。

《途中経過》

実験検証-Aとして既に進めている*****特性に関する途中経過が、Fig-4の分布特性である。このように現行の試験設備においては精度的な課題があり、*****



実験の計測精度も含め、ばらつきの大いことがわかる。また、現行の研究に使用している材料のSEM解析結果では、Fig-5に示す通り試料としては*****できず、このまま研究を進めていくことは困難である。



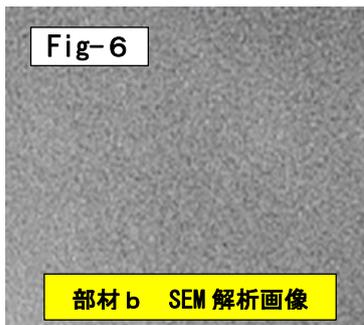
*****したがって、この点も今後加工精度含めた解析改良を進め、実験検証-BのSTEPに進める必要がある。

そのためには*****いく必要性がある。

参考までに*****加工にて**処理を施した“部材b”のSEM解析画像をFig-6に示す。

実験検証はこれからであるが現状に比べ*****の**を見ることができ、*****と期待される。

*****である。



以上、これまでの経過を踏まえ上記スケジュールに従って研究を進め結論を導き出し、エビデンスを明確にし、特許出願に繋がたいと考えている。また、*****で最終的には、*****更に量産化に向けた事業化を目指したいと考えている。

できるだけ解りやすく、写真や図を用いて説明してください。適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。

④これまでに交付を受けた県や国等の補助金、又は学術支援、委託費等の実績説明
(申請中の案件を含む)

該当ない場合は、最初の表の「事業名称及び事業概要」に欄に「該当なし」と記載してください。

事業名称及び事業概要	該当なし	書き方(例)
事業主体		
実施期間	該当しなければ ⇒ 該当なし	
補助金額・委託額		万円
テーマ名		
本事業との相違点		
事業成果・実績	(直近の事業化段階：) ※事業成果・実績期についても簡潔に記載	

事業名称及び事業概要		
事業主体		
実施期間		
補助金額・委託額		万円
テーマ名		
本事業との相違点		
事業成果・実績	(直近の事業化段階：) ※事業成果・実績期についても簡潔に記載	

事業名称及び事業概要		
事業主体		
実施期間		
補助金額・委託額		万円
テーマ名		
本事業との相違点		
事業成果・実績	(直近の事業化段階：) ※事業成果・実績期についても簡潔に記載	

(応募書類作成にあたって)

- このWORD書式で作成するにあたり、必要に応じて改行して枠を広げたり、余白を詰めたり適宜調整頂いても結構です。
- 提出にあたってはPDF化してください。
- 別記や添付としたい場合は、該当する欄にその旨を記し、別添頂いても結構です。こちらについても上記PDFに含め、まとめて1ファイルとして提出ください。

(別紙 2)

書き方(例)

令和4年度 大学発イノベティブ・ベンチャー創出事業
大学発ベンチャー創出・育成プログラム
試作開発等支援 応募書類

2. 経費内容

単位：円（税込）

経費区分	仕様・内容	個数	単位	単価	小計	仕入先又は 見積徴取先 (※)
備品費	①◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆	1	台	550,000	550,000	㈱□□製作所 有〇〇工業所
	②※※※※※	1	台	450,000	450,000	
原材料/消耗品費						
設備等借料						
外注費						
人件費						
旅費						
通信運搬費						
その他						

合計： 1,000,000 円（税込）
(1枚目の必要経費額と整合)

(※) 採択後提出頂く見積書や実績報告書、会計報告書等の書類との整合性が求められます。
採択および研究委託契約後、変更が必要になった場合は、すぐに必ず ACF 事務局にご相談ください。あらためて確認させていただきます。